

空き家 見学会 & 相談会

5/14水

見学 14:00~15:30
相談 15:30~

借りられるかもしれない空き家
まだ貸すか決めていない空き家
を見せてもらいます。まちの歴史
や空き家を活用したお店の紹介
もします。見学会の後、空き家
を活用してやりたいことにつ
いて個別でお話をします。



須藤 悠 すどう ゆう
R-DEPOT スタッフ

大学生の時に空き家を借りて、改修しながら
住んでいた経験から空き家の虜に。まちの
空き家や古道具を引き継ぐR-DEPOTに入り、
日頃から善光寺周辺にある空き家の情報
収集に力を入れている。

空き家
こぼれ話

最近、権堂の空き家でお店を
始める方のマッチングが出来ま
した。DIYで直す箇所もあり、
一緒にカーペットを剥がしまし
た。翌日、筋肉痛になりました
が良い思い出です。



参加募集

集合：まち暮らしたてもの案内所（R-DEPOT内）

参加費：ながの門前まちあるき 1,000円（U22 無料）

空き家見学会相談会 500円（U22 無料）

定員：各10名 ※要申込

申込み：☎026-219-2280（月曜休）✉info@r-depot.com

ながの門前 まちあるき

5/31土

14:00~16:00

門前で暮らす人、働く人、
楽しんでいる人にまちを
案内してもらいます。

vol. 227 ミチとミセの間を デザインする

ミチとミセの間に見かける
ちょっとした居場所。目的地
を持たないまち歩きをして事
例を集めたあと、ワークで居
場所のデザインをします。



伊藤 一生 いとう かずき
木瓜建築

長野市安茂里出身。信州大学大学院建築
学修了。建築設計や大工活動の中で、専門
外の方の建築への意識のボトムアップを
図りたいです。

窓口開設中！
◎R-DEPOT



いろんなこぼれ
話にきてみて

例えば...

- ・長野に住みたい
- ・お店をはじめたい
- ・家財を引継ぎたい
- ・場所がほしい
- ・にぎわいをつくりたい
- ・アイデアがほしい

場所：長野市西後町 610-12 R-DEPOT

時間：10:00~17:00（月曜休）

問：☎026-219-2280 ✉info@r-depot.com

「まち暮らしたてもの案内所」は
長野市中心市街地遊休不動産活用事業*
の一環で官民連携により実施しています。

*長野市中心市街地遊休不動産活用事業
（2015年~）

【主催】長野市中心市街地活性化協議会
【問合せ】事務局 榎まちづくり長野
（電話 026-267-5323）

【プロジェクト】

◎西鶴賀町エリアリノベーション（2020年~）
拠点 / 9軒長屋
協働 / 長野県建築士会ながの支部

◎石堂町エリアリノベーション（2022年~）
拠点 / まちかど図書館ぼたん
協働 / 長野県立大学 築山ゼミ

◎まち暮らしたてもの案内所（2024年~）
拠点 / R-DEPOT
協働 / R-DEPOT

発行：まち暮らしたてもの案内所

まち暮らし たてものの会議

まち・暮らし・たてもの、それぞれの専門家がいたり、いなかったり。空き家・空き地の活用を中心に、まちの催しやこれからできるお店のこと、面白い人のことなどいろいろな話をします。いろんな人に参加してほしいです。



議題

秋葉荘の活用と
権堂周辺の活性化

参加者：9名

第14回

3/14

田町に建つ元料亭の秋葉荘を活用するプロジェクトが1月から動き始めた。残置物が夕いので月1回片付けイベントを開催している。だいたひ片付いたので、どんなお店や入居者が入って欲しいか考えた。モーニングカフェが欲しい。手前の駐車場を広場にしたい。子育て世代やママさんたちの居場所もありでは？と様々な意見が飛び交った。田町・権堂周辺の状況を踏まえて活用を考えていきたい!!

第18回

5/9 金
16:00・17:00

① 鶴賀周辺にお店が増えているらしい

② 解体されていた空き家

③ 地区ごとのお祭りについて

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

① 公民館の使われ方

② 倒壊しそうな
空き家どうする？

③ 空き地の使い方

第19回

5/23 金
16:00・17:00

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

議題

長野駅末広町付近の
再開発の話を聞いてみよう！

参加者：8名

第15回

3/28

駅前の再開発の話を聞くためにまちづくり課さんとお呼びした会。新聞などに末広町付近の再開発の件が取り上げられているが、そもそも誰がどういう形式で決める。実際に建設するまでの様子を検討がされているのか聞いた。再開発といっても民間主導や法的に定められているなど区分が存在する。お地権者の方で検討組合が設立され、自治体やデベロッパー・コンサルと話し合う。住民向けの意見交換会なども設けられているので、参加してみる話もあった。



まち暮らしたてもの 案内所便り

2025

5月

まちでくらし、
まちを歩いて、
まちのことを話す
わたしたち

